

湯玉とシラサギを探そう!

館内各所に道後温泉のシンボル、湯玉とシラサギがたくさん隠れています。中には天気の良い日の特定の時間帯にしか見ることができない貴重な湯玉も。あなたはいくつ発見できるかな?





ハートマークも?

内部で知る

道後温泉本館には4つの入浴コースと1つの観覧コースがあります。



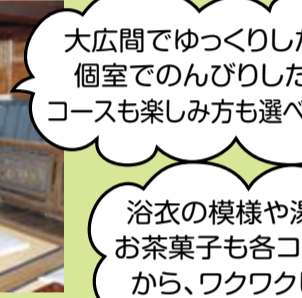
どのコースも夏目漱石ゆかりの坊っちゃんの間を見学できるんですね

区分	大人	子ども	営業時間	
霊の湯	3階個室	1,500円	750円	6~22時 (札止め20時40分)
	2階席	1,200円	600円	6~22時 (札止め21時)
神の湯	2階席	800円	400円	6~23時 (札止め22時30分)
	階下	400円	150円	6~23時 (札止め22時30分)
又新殿観覧(☆)	250円	120円	6時~21時30分 (札止め21時)	

※子どもは2歳以上11歳以下、☆は6歳以上11歳以下。霊の湯は又新殿観覧付き

大広間でゆっくりしたり、個室でのんびりしたり、コースも楽しみ方も選べますね

浴衣の模様や湯上がりのお茶菓子も各コースで違うから、ワクワクしますね

「お客さんでござた返しているのは、と思っていました、意外とゆつたりできました。お客さんの数が落ち着いて、ゆつくり入浴しやすい時期や時間帯をPRしてくれたら、もっと利用しやすいならそつです」

「道後II観光というイメージでしたが、歴史好きや建築好きなど、地元の人々も楽しめる場所ですね」

「(男湯の)浴槽正面の大きな湯釜には、万葉集の時代からの歴史や文化の魅力がぎっしり詰まっていますね」



万葉歌人・山部赤人の長歌が刻まれた神の湯(男)東浴室の湯釜

利用して知る

最後に、神の湯2階席を実際に利用し、道後温泉の良さを体感してみよう。皆さんの感想は?

「畳の香りに癒やされます」

「寝転がってみたいよね」

「年に1度の休館日に畳替えをしているんですね! 限定公開イベント化しても面白いかも!!」

「足湯は時々利用するけど、道後温泉本館には10年以上来ていなかったかも」

「実際に来て体感すると、外から見て以上に風情があって楽しめそうです。マッサージ付きの女子会コースなんてどうでしょう」

今回のワールドワークはここで終わりますが、あなたが見つけた道後の魅力、どうやって発信していきますか?

「私はまずは、友達に!」

「私はソーシャルメディアで全世界に! 一人でも多くの人に知ってほしいです」

「私は身近な人に口コミです。そして実際に行ってみることを薦めます。私自身も感じて驚きや新発見をぜひ体験してほしいです」

「周辺には、商店街や子規記念博物館など良いものがたくさんあるので、本館の魅力と合わせて、多くの人に楽しんでほしいですね」

だんだん松山プロジェクトで出会った仲間たちは、日本最古の道後温泉の魅力を見つめ直し、道後・松山の良さを発信しようとして始めました。道後温泉本館は2014年に本館改築120周年を迎え、「最古にして最先端。温泉アートエンタテイメント」をテーマに記念事業「道後オンセナート」を開催します。地域の取り組みと市民発の活動です。活性期待される道後に、ぜひお越しください。

お問い合わせは、道後温泉事務所
〒921-5141 松山3-3-4
TEL 0934-341-1111 FAX 0934-341-1112
E-MAIL info@dohotoku.com

本館のシンボル 振鷲閣

6時、12時、18時に鳴る「刻太鼓」は「日本の残したい音風景100選」に選ばれています。本館建築当時は1時間ごとに打ち鳴らされていたそう。

赤いギヤマンと景色がきれいですね




① 神の湯棟(本館北側)	明治27(1894)年
② 霊の湯棟(本館東側)	明治32(1899)年
③ 又新殿(本館北東側)	明治32(1899)年
④ 南棟(本館南側)	大正13(1924)年
⑤ 玄関棟(本館正面)	大正~昭和初期(1925~1935)年頃
⑥ 事務所棟(本館正面北側)	昭和10(1935)年
⑦ 玄関南棟(本館正面南側)	昭和10(1935)年以降



お湯を知る

道後温泉の源泉は29本で、現在は18本が利用されています。湯温20~55度の各源泉を分湯場で混ぜ合わせて適温に調節し、本館へ送っています。源泉かけ流しで加水・加温は一切なく、湯冷めしにくいと評判です。

道後温泉のお湯には美肌効果があるそう、うれしですね

なめらかなアルカリ性単純温泉 本館の各浴室に送湯

道後温泉に行ってみよう!

市民の皆さんの視点から松山の魅力を高め、全面に発信していくこと、市民ワークショップ「だんだん松山・みんなでカフエ」が、7月28日・8月8日に開催され、延べ43人の市民が参加し、松山の良さや情報発信方法について活発な意見交換が行われました。ワークショップ終了後、参加者の中から道後の魅力に注目した4人が再集結し、道後を体感しながら魅力発信につなげるフィールドワークを行いました。

いい加減。まつやま

シラサギが北を向いているのは神の湯棟の正面が北側だった明治時代の名残なんです

玉の石にお湯かけ祈願。願いごとは... ヒミツ!!

明治27(1894)年に道後湯之町初代町長・伊佐庭如矢侯の繁栄を願って改築した建物が現在の道後温泉本館で、平成6年には国の重要文化財に指定されました。

伊佐庭如矢像

日本最古の温泉

シラサギ伝説や玉の石神話が伝わる道後温泉は、日本最古の温泉といわれています。